

代表者名	小畑 元	所管部課名	観光文化スポーツ部交通政策課
所在地	北秋田市脇神字藁岱21番地144	設立年月日	平成7年11月16日

【沿革及び県の出資理由】

空港ターミナルビルは公共交通を担う施設であり、高い公共性が求められることから、平成7年県を主体とする地方自治体及び経済界の出資のもと、第3セクター方式の株式会社として設立された。

【出資者】（25年度当初）

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	148,500	30.0
市町村	9	106,500	21.5
その他	17	240,000	48.5
計	27	495,000	100.0

【事業】

①主たる業務

1. 空港ターミナルビル及び付帯施設の賃貸業
2. 広告、宣伝業
3. 煙草、郵便切手、収入印紙等の販売

②事業実績

(百万円、人)

事業名等	22年度	23年度	24年度
不動産事業	221	216	216
付帯事業	21	18	17
国内線搭乗者数	114,824	106,622	103,704

③24年度事業概要及び25年度事業計画・目標

前年の震災需要の反動から旅客利用が2.7%程下回ったが、空港施設として不可欠なレストラン等のテナント対策、道の駅運営のため、種々のイベント開催に積極的に取り組んだ。結果、テナントの収入は前年を上回るものとなり一定の成果を上げた。平成25年度も、運行支援施設としての役割を認識しながら、賑わいづくり、道の駅の運営などを含めた地域の方々の利活用を進め、航空旅客の増加と安定経営を目指す。

【組織】

①役員数 (H25. 7. 1現在)

(人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者	1	
内、県職員		
非常勤	6	2
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	7	2
内、県関係者	2	

②職員数 (H25. 4. 1現在)

(人)

正職員	3	正職員	正職員
内、県退職者		平均年齢	平均勤続年数
出向職員	1	48歳	16年
内、県職員			
臨時・嘱託	5		
内、県退職者		平成24年度正職員平均年収	
計	9	6,704千円	
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数(平成24年度)	1人
役員報酬支給対象者平均年齢	62歳
平均役員報酬額(平成24年度)	4,800千円/年

【財務】

①損益状況(24年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	233,631
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	233,446
運用益収入	
その他	185
経常支出 B	204,863
人件費	46,945
その他	157,918
経常損益 C = A - B	28,768
経常外収入	
経常外支出・諸税	11,326
当期損益	17,442

②財務状況(24年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	261,336	25.1
固定資産	778,038	74.9
繰延資産		
資産計	1,039,374	100.0
流動負債	63,224	6.1
短期借入金	35,720	3.4
固定負債	317,871	30.6
長期借入金	295,990	28.5
負債計	381,095	36.7
資本金	456,000	43.9
剰余金等	202,279	19.5
純資産計	658,279	63.3
負債・純資産計	1,039,374	100.0

	(千円)
県の損失補償額	県の債務保証額

	(千円、%)		
退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	15,039	15,039	100.0%

【県の財政支出】

(千円)

	22年度	23年度	24年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高	35,880	14,229		空港ターミナルビルの建設(ふるさと融資) ※平成24年度完済

1 主な経営指標

項目		単位	22年度	23年度	24年度	22-23増減	23-24増減
健全性	自己資本比率	%	57.18	59.72	63.33	2.54	3.61
	借入金依存率	%	38.11	35.56	31.91	△ 2.55	△ 3.65
	流動比率	%	272.08	287.37	413.35	15.29	125.98
	経常収入額	千円	242,291	234,237	233,631	△ 8,054	△ 606
収益性	剰余金（△欠損金）	千円	163,653	184,836	202,279	21,183	17,443
	経常利益率	%	13.37	12.85	12.31	△ 0.52	△ 0.54
	総資本利益率	%	2.81	2.80	2.77	△ 0.01	△ 0.03
効率性	総資本回転率		0.21	0.22	0.22	0.01	0.00
	職員1人当たり経常収入額	千円	26,921	26,026	25,959	△ 895	△ 67
	人件費比率	%	19.96	21.18	20.09	1.22	△ 1.09

2 経営目標の達成状況

経営目標			22年度	23年度	24年度	25年度
経営改善指標	経常利益額 (単位：千円)	目標	24,000	27,000	19,000	19,000
		実績	32,403	30,096	28,768	
経営改善指標	借入残高 (単位：千円)	目標	439,030	381,659	331,710	295,990
		実績	439,030	381,659	331,710	
事業成果指標	経常収入 (単位：千円)	目標	240,000	240,000	240,000	240,000
		実績	242,291	234,237	233,631	
事業成果指標	乗降客数 (単位：人)	目標	126,000	105,000	105,000	105,000
		実績	114,824	106,622	103,704	
顧客満足度指数		目標	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

営業収入の減少を599千円と最小限に抑えたが、航空貨物維持事業負担金等の支出増から、最終利益は前年を3,742千円下回ることとなった。

空港施設に不可欠なテナント対策、空港の賑わいづくりに積極的に取り組んだ結果、レストラン等においては前年を3.7%程上回る営業収入を上げた。今年度もこれらを強力に推進するほか、自治体、経済界等関係機関と連携した空港利活用、利用者の拡大に努める。

〈顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組〉

空港・道の駅の賑わいづくりとして取り組むイベントや定期的「大空市」は、地域の方々に認知され好評であることから、イベント内容の充実で来場者の拡大に取り組む。

4 総合評価（計算書類等の資料による評価）

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> ・負担金等の支出増により営業費用が前年度に比べて2,445千円増加したが、売上高はほぼ前年度並みを確保したことにより、経常利益を28,768千円計上し、目標を達成している。 ・今後も旅客のみならず、テナント・道の駅利用者の集客による安定的な収益計上が求められる。 	